



濡れた路面の吸水が素早くできる

ウォーターズ

降雨・降雪後の濡れている路面の吸水をおこない、その後の施工を早く行うことが可能です。

- 18リットルの水を吸水
- 排水が簡単
- コンパクトに収納
- スポンジの交換作業が簡単

ホームページにウォーターズを使用している映像があります。ぜひご覧ください。

ウォーターズ

冬期におけるシート製品 施工上の注意点

- ◆ 設置路面に凍結防止剤等が残留している場合、必ず除去を行ってください。
- ◆ 設置路面温度が低い場合、設置路面を加熱することで、シートの接着強度が高くなります。



当社商品に関するご注文・お問い合わせはこちらまで

Tel 076-289-6639 (直通) Fax 076-289-6637

月刊 SANKO NEWS 12 2016年12月号 Vol.87

SANKO サンコー企業株式会社

石川県河北郡津幡町宇旭山11番地2 〒929-0447
Tel:076-289-6708(代表) Fax:076-289-7992

月刊 サンコーニュース

SANKO NEWS

MONTHLY

December 2016 Vol.87

12

自転車通行区間 標示統一

山梨県技能まつり
クラブチャルボート
クリスマス路面装飾

「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」改定により

自転車通行空間 標示統一



改定の背景

近年、自転車保有台数は増加傾向にあり、自動車の交通事故が減少しているにもかかわらず、自転車の事故が増加していました。そのような状況から、平成24年11月に「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」が作成されました。しかし、ガイドライン策定以降も、安全な自転車通行空間の整備が一部の市区町村にとどまっている緩慢な状況（平成24年4月1日時点34市区町村→平成28年4月1日現在で92市区町村）にあったため、今年8月にガイドラインが改定されました。改定により、自転車が通行するゾーンの路面標示が統一されました。これまで地域によって異なっていた路面標示を統一し、自転車が走る場所を分かりやすく示し、車や歩行者との接触事故を減らすのが大きな狙いです。

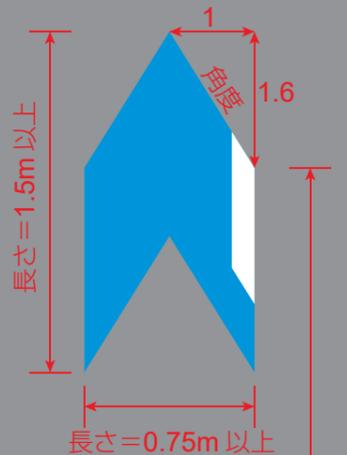
クイックシート 施工例



自転車マーク W750×H1015mm 【J-M-123】 愛知県 豊田市



矢印 W750×H850mm 【Y-C-319】
自転車マーク W750×H885mm 【J-M-136】 北海道 帯広市



長さ=0.75m以上



長さ=0.75m以上

設置間隔 10m

誤解を与えないよう、道路標示（普通自転車歩道通行可）と類似しないもの



路面標示イメージ

整備形態イメージ

今後、自転車通行空間はガイドラインに準じて整備が行われると考えられます。しかし、ガイドラインはあくまでも標準的な考え方等を示したもので、地域の課題やニーズ、交通状況を十分に踏まえる必要があります。

整備形態	自転車道	自転車専用通行帯	車道混在
用途	円滑な自転車通行のために、緑石や柵などで区画して設置される自転車専用の道路です。	自転車専用の車両通行帯を整備し、通行場所を指定する際に用いられます。	自転車専用通行帯の整備が困難な状況において、当面の対策として車道の左側に混在する形で設置されます。
自転車と自動車の分離	構造的な分離	視覚的な分離	混在
目安	速度が50km/h超	自転車道、車道混在以外の道路	速度が40km/h以下かつ自動車交通量が4000台以下
整備イメージ	 歩道 自転車道（一方通行） 車道	 歩道 自転車専用通行帯 車道	 歩道 路側帯 車道
※整備イメージの一例です。			

※出典「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」（国土省 道路局・警察庁 交通局）資料より

山梨県技能まつり

2016.11.13

山梨県甲府市の小瀬スポーツ公園にて、山梨県技能まつりが開催されました。親子で「ものづくり」が体験できるコーナーを中心に、技能士等が製作した作品の展示販売やワインの試飲など、約200ブースが出演されており、たくさんの方で賑わいました。

山梨県路面標示施工技能士会として、クイックシートの製作体験コーナーを設けました。子供を中心に、たくさんの方にクイックシートの製作を楽しんでいただきました。

「パンダ」や山梨にちなんで「ぶどう」などのクイックシートを準備しました

MERRY CHRISTMAS

レッドカーペット風のグランシャルシートを当社玄関に設置しました。来社していただいたお客様へおもてなしの演出と、クリスマス気分を味わっていただき、慌ただしい12月の気分転換になればと思います。お近くにお越しの際は、是非お立ち寄りください。

W1200×H4000mm

2016 編集後記

12/XX 35:35

今年も月刊サンコーニュースをご愛読いただき、ありがとうございました。2016年、次男の育休が明け、広報デザイン係に配属になり、7月号からサンコーニュースの作成を担当させていただきました。「皆様にとって役立つ情報は何か?」「どうやったら楽しく読んでいただけるか?」など、悩みながら作成してきましたが、いかがでしたでしょうか。来年もよりよい情報をお届けできるよう努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。